

# おぐら山荘便り

2016年9月1日(木)発行

## 8月はかき氷作り♪ 甘くて涼しい夏のお菓子

おぐら山荘では月に一度ご利用者様と一緒におやつ作りを楽しんでいます。8月のメニューは、ひんやり冷たく美味しいかき氷。夏の風物詩で涼を感じながらみんなで味わいました。

8月は暑い夏の時期ならではのメニュー「かき氷」にチャレンジしました。季節感を楽しむこともおやつ作りの醍醐味で

す。まずはふわふわのかき氷を作るため、男性のご利用者様に手伝っていただき、氷けずり器で氷をけずっていきます。力

のいる作業でしたが、スタッフと協力して人数分の氷を作りました。けずった氷に、好みの味を選んでいただき、女性のご利用者様にトッピングをしていただきました。今回は宇治抹茶の方が人気があったようです。食べはじめると「冷たくて甘くて美味しいね」とペロリと食べて、おかわりするご利用者様もたくさん

んいらっしやいました。季節のおやつを口にふくむと、その季節の思い出がよみがえることもありますね。子どもと作って楽しんだこと、夏祭りに行ったこと…それぞれの思い出も楽しみながら、かき氷を皆さんと一緒に味わいました。



▲抹茶のみつにあんこをのせて、かき氷の人気メニュー「宇治抹茶」の出来上がり



▲氷けずり器に氷を入れます



▲ガリガリ…氷を削っていきます



▲ふわふわの氷ができましたよ！



▲氷みつは抹茶とイチゴを準備



▲あんこをのせたカップが並んで、まるでかき氷屋さんみたい



▲みんなで食べると美味しいですね！

● 職員インタビュー (後編) ●

過ごしていることを  
楽しみ、誇りに思える  
施設にしたい

副施設長 | 中野大志 (なかのだいし)



副施設長の中野です。前号では、介護職に就くことになったきっかけ、おぐら山荘の代表である徳丸威一郎さんとの出会い、福岡にヘルパーとして転職したことなどお話ししました。後編では、おぐら山荘の立ち上げ時か

ら現在までに至るまでお話しいたします。

大好きな大分へ戻り  
以前の施設に復帰

福岡でホームヘルパーの仕事をしていましたが、ご利用者様に関わることの制限が多い仕事

だったので不完全燃焼だと感じてきました。その場限りのお世話だけではなく、しっかりと向き合うことが出来る施設で自分は働きたいと思い、大分に戻り以前いた施設に復帰しました。復帰して3年経ったころ、尊敬している徳丸夫妻より「おぐら山荘で施設長をすることになりました。ぜひ一緒に仕事をしようよ」と誘いを受け、おぐら山荘に入社することに決めました。

お一人お一人と  
丁寧に接すること

おぐら山荘が他の施設と違う点は、職員が多いのでご利用者様お一人お一人に丁寧に関わりをもつことができることです。スタッフの意見を大切に、よりよい施設になるための新しい提案やその内容を実行していただけるようにスタッフ一同コミュニケーションをしっかりととっています。

日常の中に  
喜びがあります

日々勤務していて、嬉しくなる瞬間は、ご利用者様が出来なかったことが出来るようになった時

です。たとえばこんなことがありました。骨折で入院されていたご利用者様が、退院した時はストレッチャーで姿勢保持さえ厳しかったのに、日々リハビリをするうちに今では手引きで歩行できるようになりました。この時はご家族の方と一緒に喜びましたね。こういった嬉しい瞬間を今後たくさん作っていきたいと思います。私自身、そしてご利用者様もスタッフも、「おぐら山荘」で過ごしていることが楽しく、誇りに思える施設にしたいと思っています。

草むしりで  
駐車場スツキリ

夏は雑草が成長するシーズンでもあります。おぐら山荘の駐車場には雑草がたくさん生えており、定期的に草むしりを行っています。今回の担当はスタッフのかずやさん

です。麦わら帽子を被って、草むしり用の手袋を装着し、いざ現場へ。この日はとても暑かったので水分補給をこまめに行いながら作業を続け、すっかりキレイになりました。駐車場をご利用になる方からもスツキリしたと好評でした。



▲麦わら帽子を装着していざ現場へ!



▲たっぷり茂っているのでむしりがいがあります



▲すっかりキレイになって好評です

**おぐら山荘**  
TEL 0977-85-8307  
〒874-0840  
大分県別府市大字鶴見1561番の2  
URL <http://ogura.link/>